

長門市水道ビジョン

第1章 策定にあたって

1.1 策定の目的

長門市は、山口県の西北部に位置しており、東は萩市、西は下関市、南は美祿市、北は日本海に接しています。

現在の長門市は、平成17年3月に旧長門市、油谷町、三隅町、日置町の1市3町が合併をして誕生しました。

長門市では、2つの上水道事業^{※1}と5つの簡易水道^{※2}を運営してきましたが、平成28年度に依山簡易水道事業を除く6つの事業を1つの上水道に統合し、総人口の93%以上の皆さんに水道水を供給しています。

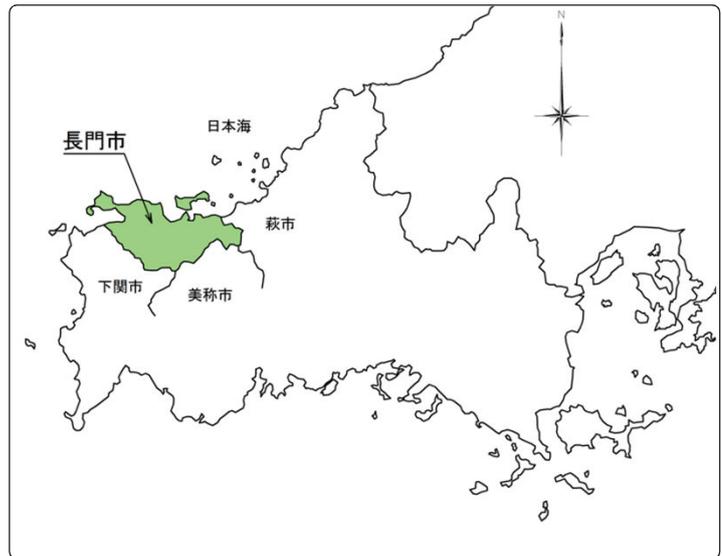
歴史としては、最大規模である旧長門市水道事業が、昭和31年に給水を開始したのをはじめ、60年以上の期間にわたって、区域を拡張しつつ、給水を維持してきました。

一方、長門市の人口は、減少を続け、それとともに料金収入に直結する給水量も減少し、水道の経営環境は厳しさを増しています。

更には、安全な水道水を供給し続けるために、老朽化した水道施設や管路の更新にも費用をかけて取組んでいかなければならない状況です。

全国的にも水道事業を取り巻く経営環境は厳しいものとなっており、国は平成16年に水道が重点的に取組むべき課題と具体的な施策を明示するべく「水道ビジョン」を策定しました。その後、制度の見直しや、施策の実現状況等のフォローアップを取り込んだうえで、平成20年には改訂が行われました。更に、平成25年には、「安全」「持続」「強靱」の3つを施策の柱として「新水道ビジョン」の策定が行われ、現在に至っています。

今回、長門市においても、これら水道事業に対する背景を受け、現在および将来に向けて取組むべき課題と、推し進めるべき実現方策を明らかとし「長門市水道ビジョン」の策定を行いました。



■ 図1 長門市の位置^{※3}

※1:給水人口5千人超の比較的大きな水道事業のことです。

※2:給水人口百人超5千人以下の規模の小さな水道事業のことです。

※3:国土地理院ウェブサイト「地図・空中写真閲覧サービス」「地形図・地勢図図歴」の画像をもとにトレースして作成しました。 <http://mapps.gsi.go.jp/>

1.2 体系フロー

長門市では、1市3町の合併後に、第1次長門市総合計画（平成19年3月）を策定し、平成19年度から平成28年度までの10ケ年に関して施策を定め、取組んできました。現在は、平成29年度からの10ケ年を計画期間とする第2次長門市総合計画とともに、前期5ケ年に対する基本計画を策定したところです。

一方、水道事業としては、国の施策（新水道ビジョン）を踏まえつつ、各地区の老朽管更新計画などを立案してきましたが、この度、長門市水道ビジョンとともに基本計画を策定し、連携を図っています。

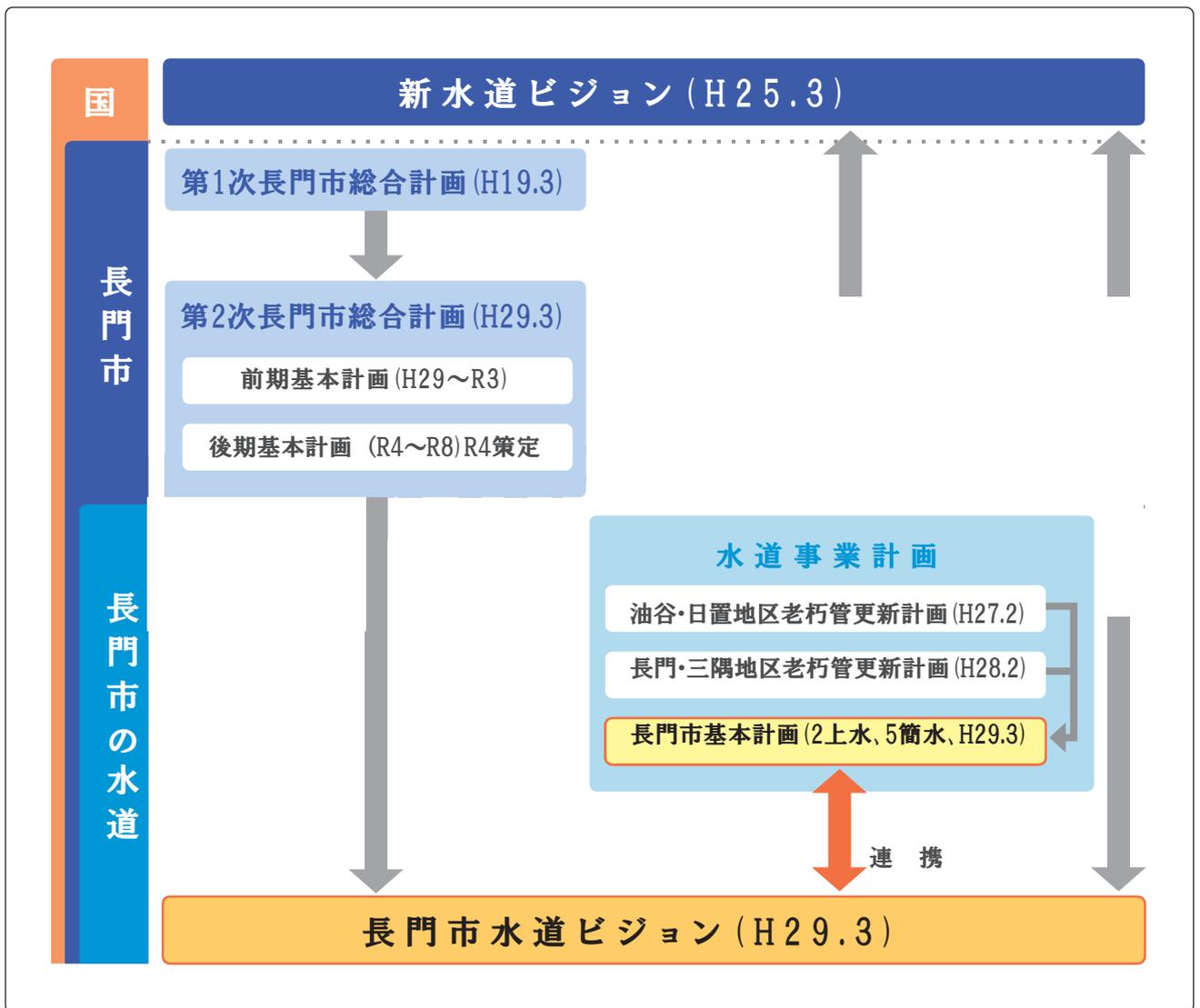


図2 体系フロー

1.3 目標年度と計画期間

市の上位計画である第2次長門市総合計画では、平成29年度から令和8年度までの10年間を計画期間としています。

長門市水道ビジョンも、この上位計画に従って、令和8年度までの10ケ年を計画期間とします。但し、浄水施設の更新・整備を継続して行うことを考慮して、令和13年度までの5年間を含め、15年間を検討期間とします。

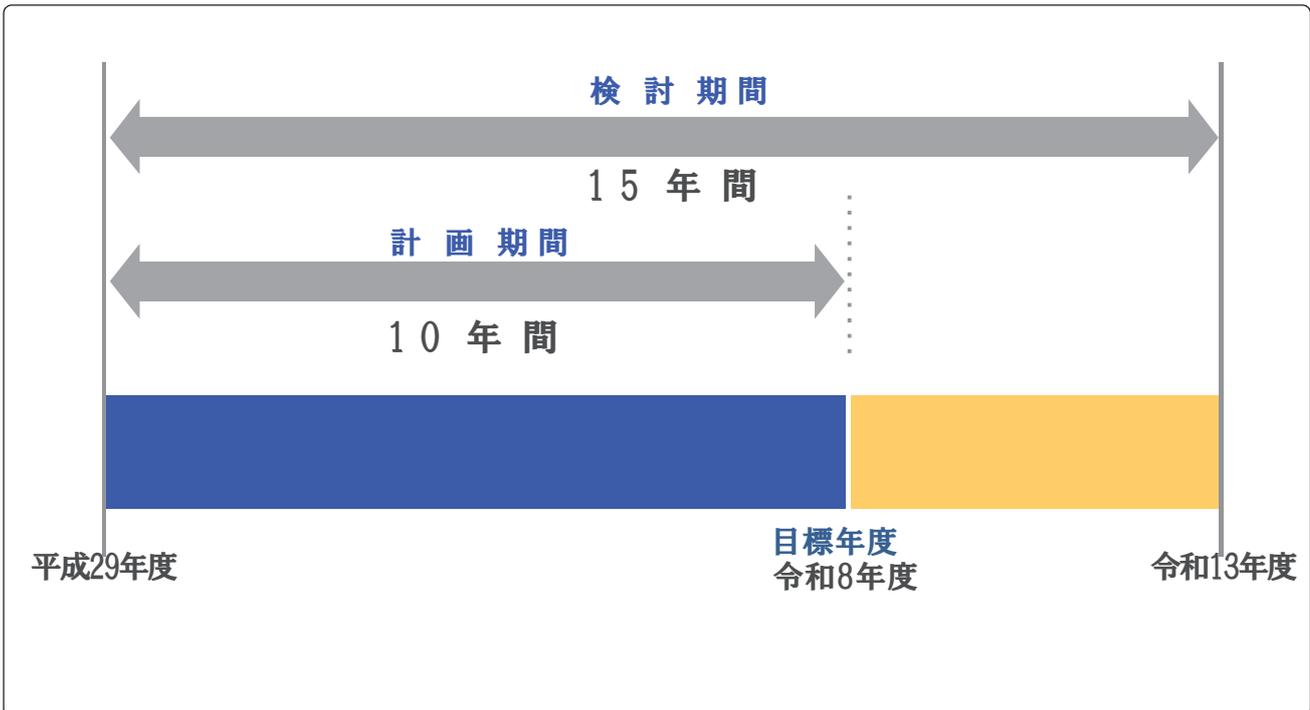


図3 目標年度と計画期間